

### Ⅲ 基本目標と将来像

県民誰もが性別によって制約されることなく、個性と能力を十分に発揮することができる県づくりに取り組むため、次の基本目標を掲げます。

#### 基本目標

## 多様なライフスタイルが実現できる信州

急激な人口減少や経済の成熟化が進む中で、人々の価値観は物質的な豊かさに加えて、精神的な満足度や暮らしのゆとりも重視するようになっていきます。人それぞれの価値観が尊重され、多様な働き方や自由時間の充実など、心身ともにゆとりある生活が求められています。

働きたい女性が仕事と子育て・介護等の二者択一を迫られることなく働き続けられ、その能力を十分に発揮することができるよう、ワーク・ライフ・バランスやライフイベントに応じた多様で柔軟な働き方の実現が喫緊の課題となっています。

また、長時間労働などにより、男性の家事・育児への参画が少ないことが、少子化の原因の一つであり、従来の働き方の改革が必要不可欠です。女性の参画が少ない業種や意思決定の場への女性の参画を進めるとともに、男性の家事・育児等への参画を促進することが重要となっています。

男女が互いに責任を分かち合いながら、自らの意思によって多様なライフスタイルが選択できる環境をつくることが求められています。

このようなことから、すべての県民が職場や家庭、地域などにおいて個性と能力を十分に発揮し、人生を楽しみ生きがいを持つことができる社会づくりを目指します。

長野県は、豊かな自然や美しい景観、優れた伝統・文化を有しています。これらの恵まれた環境の中で、先人たちが築いてきた健康長寿、農山村などの豊かな生活、食文化などを享受しながら、真の豊かな生活を実現できる大きな可能性を持っています。

男女がともに、その希望に応じて、多様な生き方、働き方を実現できる、ゆとりある豊かな信州暮らしを創造していきます。

基本目標で掲げた「多様なライフスタイルが実現できる信州」に向かって、県民みんな  
で取り組むために、3つの将来像をめざしていきます。

めざす姿 1

## あらゆる分野で女性が活躍できる社会の実現

—— 経済社会、地域社会などのあらゆる分野で

女性が活躍できる県づくり ——

- ・官民ともに女性の採用、管理職への登用、職域の拡大
- ・長時間労働など男性中心型の労働慣行の見直し
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・M字カーブの解消、非正規雇用への対応、就業支援

### 【実現した社会の姿】

#### ○ 新たな価値の創造へ

多くの女性が製品・サービスの開発に参画しており、多様な経験・価値観が反映されてイノベーションが生み出され、新たな価値が創造されたり、新しい市場が開拓されています。

#### ○ 企業風土の改革による生産性向上へ

職場においては、長時間労働が削減され、勤務時間内に仕事をして成果を出すことが評価されて、仕事の質、生産性が向上しています。

#### ○ 働きがいを持ち、働き続けられる職場環境へ

出産、育児、介護等のライフイベントに応じて、短時間勤務正社員制度、介護休業制度、テレワーク等の多様で柔軟な働き方を選択できる、誰にとっても働きやすく仕事のやりがいを持って働き続けられる職場環境が整備されています。

#### ○ 新たな経済の成長へ

女性の経営者や役員が増加して、組織の多様性が高まり、変化する市場への適応力やリスク体制が向上して、ビジネスや経済に新たな成長をもたらしています。

#### ○ 新たな課題解決の促進へ

地域、社会の様々な分野への女性の参画が進み、女性の視点や活動を通じて、それまで取り上げられなかった社会的課題等の解決が促進されています。

#### ○ 地域社会の活性化へ

地域における防災、まちづくり、自治会、子育て支援など地域の基盤を支える活動において、女性の方針決定過程への参画が進み、活発な活動が展開されています。

長野県で働き、暮らすことに魅力を感じて、多くの人々が移住・定住しています。

## 【ライフスタイルの例】

～職場では～ 女性も男性も能力を十分に発揮でき、いきいきと仕事をしています。  
女性も管理職として方針決定に参画しています。  
建設業、林業、製造業等の職場で、女性技術者が個性と能力を活かして活躍しています。

～地域では～ 女性も自治会長など地域のリーダーとして活躍しています。  
食生活改善、健康増進の活動に女性も男性も参画し、特色ある健康長寿の取組を発信しています。  
起業をめざす女性が、コワーキングスペースやシェアオフィスを利用して、情報交換をしながら、新しいアイデアの事業化に取り組んでいます。

## 【実現するには】

ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、女性の登用を進めることが重要です。  
長時間労働など、男性中心型の雇用慣行を見直すとともに、多様で柔軟な働き方の導入が重要です。  
女性のエンパワーメントの促進が必要です。  
固定的な性別役割分担意識を解消することが求められます。

【用語解説】 **M字カーブ**：日本の女性の労働力率を年齢階級別にグラフ化したとき、30歳代を谷とし、20歳代後半と40歳代後半が山になるアルファベットのMのような形になることをいう。これは、結婚や出産を機に労働市場から退出する女性が多く、子育てが一段落すると再び労働市場に参入するという特徴があるため。

**イノベーション**：新生産方式の導入といったいわゆる技術革新のみならず、新市場の開拓、新組織の形成など、それまでとは違った新しい工夫ややり方を取り入れること。

**テレワーク**：情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。

**コワーキングスペース**：Co（共に）working space（働く場所）という意味の言葉。具体的には、事務所スペース、会議室、打ち合わせスペース等を共有しながら、起業・創業を目指す人や、フリーランス（個人事業者）が各自で仕事をする交流型オフィスを指す。

**シェアオフィス**：一つのオフィススペースを、会社や個人事業主など複数の借り主が共同利用するオフィスの形態。

**エンパワーメント**：「力をつける」の意で、一人ひとりが社会の一員としての自覚と能力を高め、政治的、経済的、文化的に力を持った存在になること。

## 安心して子育てができる暮らしの実現

—— 豊かな自然の中で、みんなで支え合い、

子どもを産み育てることができる県づくり ——

- ・ 子育てと仕事の両立に向けた支援
- ・ 男性の男女共同参画に対する意識改革
- ・ 教育機関と連携した男女共同参画を推進する教育・学習の充実
- ・ ひとり親家庭の親子が安心して暮らせる環境整備

### 【実現した社会の姿】

#### ○ 子育てを支える気運の醸成へ

地域みんなで子育てを支えていく機運が醸成され、子育て支援を受けた人が次には支援に回るといった循環ができています。

#### ○ 子育てと仕事の両立へ

多様で柔軟な働き方が普及しており、夫婦ともに子育ての時間を十分に確保しながら、親子の絆を深めています。

#### ○ ひとり親家庭の自立支援へ

ひとり親家庭等の親子が自立した生活を送ることができるように、保護者の就業支援や子どもの教育支援など、きめ細かな支援が行われています。

#### ○ 安心な暮らしの実現へ

すべての人の人権が尊重され、差別や暴力を受けることなく、子どもや女性も安心して暮らすことができます。

### 【ライフスタイルの例】

～家庭では～

育児休業や短時間勤務によって夫婦が協力して育児を行っています。

～職場では～

経営者や管理職が率先して定時退社をして、家事、育児や地域活動などを行っています。

～地域では～

地域の伝統・文化の継承に取り組むグループが、若者や子どもたちに農業体験や郷土食づくりなどを伝える活動を行っています。

自然環境を活かしたプログラムを実践する自然保育が各地域で行われ、男女の保育士が子どもたちの健やかな育ちを支えています。

### 【実現するには】

仕事と家庭の両立支援を推進することが重要です。

「イクメン」「イクボス」の普及も効果的です。

子育てを支援する体制の充実が重要です。

固定的な役割分担意識を解消することが求められます。

**【用語解説】イクボス**：部下が育児と仕事を両立できるよう配慮したり、育休取得や短時間勤務などを行っても業務を滞りなく進めるために業務効率を上げ、自らも仕事と生活を充実させている管理職。

### めざす姿3

## 男女がともに豊かさを実感できる暮らしの実現

—— 男女がともに生きがいを持ち

暮らすことができる県づくり ——

- ・豊かな自然と共生し、多様な生き方ができる信州暮らし
- ・健康長寿を継承・発展させ、生涯現役で自己実現できる社会づくり
- ・男女共同参画の視点に立った地域づくり

### 【実現した社会の姿】

- 個性や能力を発揮し、自己実現ができる社会へ  
一人ひとりの個性や多様性が尊重され、進学、就職、結婚、出産等のライフイベントなど、あらゆる場面において希望に応じた選択をすることができ、個性や能力を十分に発揮することができる社会が実現しています。
- 多様な意見が生かされ住みよい地域へ  
地域社会において男女の多様な意見が反映され、誰もが住みやすい地域が実現しています。防災、減災の方針決定においても、女性、外国籍県民、障がい者などの多様な視点が反映され、地域の防災力が向上しています。
- 自然や伝統を活かした地域づくりへ  
ゆとりや新しいライフスタイルを求める多くの人々の集いと発信の場となる元気な農山村が多くなり、地元の農林産物などの地域資源を活用し、自然や伝統を活かした地域づくりが進んでいます。
- いきいきと暮らせる社会へ  
高齢者は、就業や起業、社会活動により、経済や社会を支える担い手として活躍し、生きがいと誇りを持って暮らしています。
- 大都市との交流の促進へ  
豊かな自然や美しい景観、伝統・文化などを活かした地域の魅力が創造され、それを求めて大都市との二地域居住が盛んになっています。

### 【ライフスタイルの例】

～地域では～ 女性も男性も、高齢者も若者も、地域に住むみんなが自治会等の地域活動やPTA活動などに参画しています。

東京から移住してきた若者が、消防団で活躍しています。

移住者と以前からの住民が、コミュニティ・カフェなどを拠点にネットワークをつくり、快適で賑わいのあるまちづくり・むらづくりについて話し合ったり、地元の農産物の加工販売や自然エネルギーの活用など地産地消の活動に取り組んでいます。

**【実現するには】**

固定的な性別役割分担意識を解消することや、時代に合わなくなった慣習・しきたりを改めることが求められます。

生涯を通じた学習機会の提供が重要です。

**【用語解説】** コミュニティ・カフェ：地域社会の中で、「たまり場」「居場所」になっているところの総称。フェアトレード食材を扱う「スローカフェ」や食を核にした「コミュニティレストラン」など、様々な形態がある。

## ～ めざす姿実現のために ～

### ◇ 特に重要な視点と取組 ◇

男女共同参画社会がめざす姿を実現するため、次のとおり特に重要な視点により取り組むことが求められます。

#### 特に重要な視点

##### ◇ 女性のエンパワーメントとチャレンジの促進

女性の活躍の推進にあたっては、女性が自らの意志によって選択して、女性自身が自分の問題として活躍するという意識と行動を主体的に起こすことが必要です。

女性が地域社会をはじめあらゆる分野に参画し、活躍の場を拡大していくためには、女性自身のエンパワーメントが不可欠です。

##### ◇ 男女共同参画の理解促進

男女共同参画は女性だけの問題ではなく、男性型労働慣行の見直しや、高齢化の進展により直面している介護の課題への対応など、男性にとっても暮らしやすい社会を実現するために重要であるという理解を促進する必要があります。

固定的な性別役割分担意識を解消するためには、暮らしに結び付いた男女共同参画のメリットを具体的にイメージできるように発信していくことが重要です。

##### ◇ 様々な主体との協働

男女共同参画社会や女性が職業生活において活躍できる社会の実現に向けて、実効性のある取組を展開するために、国、市町村等との連携を緊密にするとともに、県民、NPO、事業者、経済団体、労働団体、女性団体、教育機関と協働して取り組むことが必要です。

#### 視点を踏まえて進める男女共同参画の取組

- 1 様々な分野で活躍している女性や、今後活躍が期待される女性を支援し、そのネットワーク化や次世代のリーダーを育成していくプラットフォーム（基盤）づくりを推進します。
- 2 男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、県民、NPO、経済団体、労働団体、教育機関、国、市町村等と一体となって施策を推進するための連携組織を整備・構築します。
- 3 地域で長い間活動されてきた男女共同参画を推進する団体や高齢者など、先人の経験や知恵を、次世代に継承するためのマッチングを支援します。